

「中間まとめ」→「長期ビジョン(案)」に係る主な追加記載等について

1 「はじめに」の追加記載

平成 21 年から、これまでの高校再編計画について時系列に追記するもの。

2 「第 1 章 新たな県立高等学校再編計画」(H28～R7)の追加記載

現行計画を評価、検証するため追記するもの。

3 地区別懇談会を踏まえた追加記載

資料 2 のとおり(再掲)

項目	意見の概要	意見の反映状況等
第 2 章岩手の高等学校教育の基本的な考え方		
○ 基本的考え方	<ul style="list-style-type: none"> 今回の中間まとめと現行計画策定の前に示された基本的方向の違いは何か。 現行計画の分析について説明してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「はじめに」の部分に、基本的方向との相違点を追記する。 新たな県立高等学校再編計画の取組(中間まとめ)を記載する。 なお、第 1 回県立高等学校教育の在り方検討会議資料の一部を追記する。
第 3 章県立高校の学びの在り方		
(1) 高校の特色化・魅力化	魅力化の取組についての総括を記載すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> 意見のとおり追記する。
第 5 章高等学校教育の充実に向けた方策		
	<ul style="list-style-type: none"> 特色あるコースの設置について柔軟な姿勢で支援してもらいたい。 いわて留学の在り方について記載すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 「5 高等学校教育の充実に向けた方策」に「普通科改革によらない新たな学科等の設置」について追記する。 意見のとおり追記する。

4 課題解決の方向性等の記載修正

(1) 課題解決の方向性

課題解決の方向性 → 「ビジョン」に修正

(2) ビジョンの語尾

- ア 「取り組む」…県教委として、「全力で取組に当たること」こと。
 イ 「進める」…県教委として、「計画・取組を進行させる」こと。
 ウ 「検討する」…県教委として、「考える、調査する、評価する」こと。
 ※語尾の頭に「必要に応じて」を追記する例あり。

5 時点修正等

- 中間まとめは令和 5 年実績として整理していたことから、長期ビジョン策定にあたり、可能な限り令和 6 年度の実績数値等を引用するよう修正したもの。
- 北桜高校(R6.4 統合新設校)について、修正したもの。
- 令和 6 年度から 1 学年 1 学級校が 10→11 校に 1 校増加したもの。